

【災害情報】（記者発表）東北地方整備局地震災害情報 （第12報）

～緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）等支援・派遣状況について～

「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」により、岩手県・宮城県内各地で土砂災害等の被害が発生しています。そのため、今年度創設された緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が両県の要請を受け、被害状況調査を実施し、2次災害防止に努めています。

また、被災箇所等各地へ支援・派遣を行っています。

1. 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）について

【派遣期間】平成20年6月14日～

【実施体制】

	先遣班				被災調査班												その他 ※①		
	ヘリ調査		緊急調査団		現地支援班		土砂危険箇所		ヘリ調査		道路		航空写真現地調査		応急対策班				
	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	
本省			1	26			1	3											
北海道開発局							1	3											
東北地方整備局	1	5					5	20			6	24			13		14		
関東地方整備局	1	5					3	9			4	16			9	2	9		
北陸地方整備局	1	4			2	9	5	20			6	30			8	2	8		
中部地方整備局							4	12	1	※②									
気象庁																		6	18
東北運輸局																		2	4
国土地理院													2	6				3	10
合計	3	14	1	26	2	9	19	67	1	※②	16	70	2	6	30	4	31	11	32

班数:85班 人数:228名

※①その他:地震機動観測班、輸送支援班、地理情報支援班

※②:土砂危険箇所調査と兼務



▲被災調査班(道路担当チーム)出陣の様子

【6/15までの点検結果】

○土砂災害危険箇所

岩手県奥州市、宮城県栗原市等の震度6弱以上の地域で、がけ崩れや地すべり等の発生が予測される約900箇所を重点的に実施

県別	市町村名	土砂災害危険箇所				備考
		危険度判定				
		A	B	C	合計	
岩手県	奥州市	5	10	65	80	6強～6弱
宮城県	栗原市	2	11	119	132	6強～6弱
合計		7	21	184	212	

*集計は平成20年6月15日に行った緊急点検箇所数224箇所を危険度判定したもの

危険度Aランク	応急対応が必要とされるもの
危険度Bランク	2次調査後対応を決めるもの
危険度Cランク	緊急性の低いもの

2. 災害対策用機械の被災地への派遣状況

別紙のとおり

※TEC-FORCEとは

<ul style="list-style-type: none"> ・TEC-FORCE: 緊急災害対策派遣隊 Technical Emergency Control Forceの略 ・平成20年5月創設 ・大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的とする。 ・従来と異なり、事前に人員・資機材の派遣体制を整備することにより迅速な対応が可能。また、平時にシミュレーションや訓練を行い、スキルアップを図る。
--

問い合わせ先

東北地方整備局	TEL:022-225-2171(代)	
[総括]	企画部 防災課 長	まつい 幸一 (内線3411)
[河川関係]	河川部 河川調査官	くみ 英輝 (内線3513)
[道路関係]	道路部 道路調査官	あべ 悟 (内線4113)
[機械関係]	企画部 施工企画課 調	こまつ 寿 (内線3451)

災害対策用機械の被災地への派遣状況

別紙

